

ポータブルmp3プレイヤー(COWON D2)でdivxが再生できるというので、バッチファイルでまとめて対応形式に変換してみた。

## コマンドラインからの起動

AviUtlをコマンドラインから起動する方法は、付属テキスト「aviutl.txt」に書いてある。  
(何年もAviUtlを使っているくせに、この記述に最近やっと気付いたことはナイショである。)

### コマンドライン

コマンドラインで読み込むファイル等を指定出来ます。

```
aviutl.exe [loadfile] [-option]
```

```
loadfile    : 読み込みファイルを指定します。
              : コマンドラインを列挙した簡易スクリプトファイル(.aus)も指定出来ます。
-o file      : fileの名前で出力します。
-p name      : nameのプロファイルに変更します。
-q           : コマンドラインの実行が終わったらAviUtlを終了します。
-r s,e       : 選択範囲を指定します。
```

## プロファイルの作成

1. AviUtlを起動し、プロファイル「デフォルト」で適当に動画を放り込む
2. 各フィルタの設定をする
3. 「AVI出力(Ctrl+S)」でコーデックの設定をし、「保存」-「出力の中断(Esc)」
4. 「プロファイル」-「プロファイルの編集」-「新しいプロファイルを作る」  
プロファイル名を入力してEnter

- 「デフォルト」以外のプロファイルを選択した状態で各設定の変更をすると、そのプロファイルも設定した通りに上書きされてしまうようです。
- コーデックの設定は「設定」-「圧縮の設定」でもできますが、ここからでは「再圧縮無し」「音声無し」が選択できないため、「保存」-「出力の中断」という方法を紹介しています。
- 「ファイル」-「環境設定」-「システムの設定」-「プロファイルに圧縮の設定を保持する」にチェック  
フィルタの設定を保存した「(プロファイル名).cfg」と、圧縮の設定を保存した「(プロファイル名).sav」が作成されます。

## バッチファイルの例

入力元フォルダにある全てのwmvファイルを、divxに2passでエンコードして出力先フォルダに保存するバッチファイルです。  
プロファイルは、

- 0th\_pass
  - 各フィルタの設定をして、ビデオ：未圧縮、オーディオ：再圧縮無しで出力
- 1st\_pass
  - フィルタ操作を行わず、divxの1パス目、音声無し
- 2nd\_pass
  - フィルタ操作を行わず、divxの2パス目、音声はlameで圧縮

の3つを作りました。

```
@echo off
cd /d "%~dp0"

echo 指定されたフォルダにある全てのwmvをdivxに変換します
set /p INPUT="入力元フォルダ? : "
set /p OUTPUT="出力先フォルダ? : "
echo start divx 2pass encoding
echo -----
FOR %%J IN (%INPUT%\ *.wmv) DO (
  aviutl.exe %%J -o %INPUT%\ 0.avi -p 0th_pass -q
  aviutl.exe %INPUT%\ 0.avi -o %OUTPUT%\ 1.avi -p 1st_pass -q
  aviutl.exe %INPUT%\ 0.avi -o %OUTPUT%\ %%~nJ.avi -p 2nd_pass -q
  echo finished encoding %%~nJ.avi
)
del %INPUT%\ 0.avi
del %OUTPUT%\ 1.avi
```

exit

後はこのバッチファイルをaviutl.exeと同じフォルダに置き、ダブルクリックで起動すればok！入力元フォルダ・出力先フォルダは、絶対パスまたはバッチファイルからの相対パスを入力してください。

名前:	<input type="text"/>
コメント:	<input type="text"/>

投稿